

事務事業名		田中正造記念日制定事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事前評価(A・C表)		
政策体系	基本目標	1	地域の特色を活かした快適なまちづくり			担当	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	3	環境にやさしいまちづくり			組織	担当係	環境政策係	担当課長名	川俣 浩
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全			新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	3	自然保護活動の充実と環境学習の推進			実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	-	一般	4	1	5	田中正造記念日制定事業				
事業計画	単年度のみ	事業期間	H28年度		根拠法令 条例等	佐野市環境基本条例				
					事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
							任意的事業・義務的事業		任意的事業	
						実施方法		一部委託		
						事業分類		講座・教室・イベント等開催事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		4-11		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)						
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		田中正造の日を10月12日とし、環境イベントを毎年10月第2土曜日に開催することとした。平成28年度は、10月8日(土)に田中正造の日環境フェスタを文化会館大ホールで開催した。						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		イベントの開催回数	回				1	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
市民		市民	人				120,683	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
田中正造の偉業を称えるイベントをとおして、自然環境の大切さを理解してもらう。		イベントの参加人数	人				912	
		イベントの協力団体	団体				6	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
記念日イベントの開催により、自然保護活動に取り組む市民が増え、田中正造の精神から受け継がれた自然環境を大切に作る心が育成される。		自然保護活動ボランティア数	人	2,637	2,647	2,502	2,521	2,700

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円				2,000				
	一般財源	千円				44				
	事業費計(A)	千円	0	0	0	2,044	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
							8-1報償金	150		
							11-1消耗品費	11		
						11-3食糧費	13			
						12-1通信運搬費	58			
						13-1業務委託料	1,300			
				13-7作成委託料	512					
人件費	正規職員従事人数	人					3			
	のべ業務時間	時間					200			
	人件費計(B)	千円	0	0	0	768	0			
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	2,812	0			

事務事業名	田中正造記念日制定事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境政策係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	田中正造の偉業顕彰を記念賞だけでなく拡大して実施することにより、田中正造の精神から受け継がれた自然環境の大切さを市民に理解してもらい、環境行政の推進を図るため、平成28年度にこの事業を企画した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	環境問題の先駆者である田中正造に関連したイベントを実施することで、市民に対して自然環境の大切さを理解してもらうための機会が増える。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市民や市民団体から、田中正造の偉業顕彰は、没後百年だけの一過性のものではなく、継続して実施することが重要との意見があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	環境問題の先駆者である田中正造の偉業を顕彰することは、市民の自然環境を大切にすることを育むことになるため、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	自然環境の保全についての啓発は、行政が主体となって実施しなければならないが、より良い事業にするためには民間団体等と協働で実施する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民に自然環境の大切さを理解してもらうための事業であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	イベントの内容を見直すことにより、成果向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名 田中正造記念賞授与事業 本事業と同様に田中正造翁の偉業顕彰を図る事業であるため、統合することができる。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	平成28年度は記念日制定の記念行事を盛大に行ったが、来年度からは事業内容を縮小して実施することができる。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	市民に対して啓発を図るための事業であり、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 自然環境の大切さについての啓発が十分に図られるか、ほかの方法により啓発をはかることとすれば、終了することができる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果		(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策			
事業統合・連携	事業のやり方改善(コストの見直し)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		コスト					
①2事業を統合する。 ②事業を縮小して実施する。			削減			維持	増加
		成果	向上				
		維持	①	×			
		低下	②	×	×		